



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Jun. 1984

II-12

THEME (1983~'84)

I. P. REACHING OUT

「手を差し伸べて」

R. D. CREATIVE POWER

「創造への熱情」

D. G. 兄弟の愛をもって

P. ONWARD CENTENNIAL

PART II

任期を終えて

会長 山中秀男

ONWARD CENTENNIAL PART II を掲げてクラブ生活を楽しんでまいりましたが、早いもので1年たってしまいました。

今年の成果を見るに、IBCの森、松添両君の精力的な活躍でハワイNUUANUクラブとの結びつきが深まりハワイ地区大会に出席し、続いてホームステイするまでになりました。当然のことながら、近い将来には先方のメンバーをこちらにホームステイで歓迎したいものです。

谷川寛君の国際議員当選もビッグニュースです。ワイズダムの国際的発展への活躍を期待すると共に、クラブとしてのサポートを考えるべきだと思います。

月々の例会も外部ゲストと会員諸兄のスピーチがミックスされ大変有意義でしたが肝心の出席率は目標通りに行きませんでした。例会のあり方をもっとイベントチックにした方が良いのか、いや着実に各委員会の活動から見直すべきなのか、活動基金にもう少し余裕を。

実り多き1年でしたが反省点も多々ありました。

ONWARD CENTENNIAL 楽しいクラブにしましょう。

メネット会長 山中ちあき

設立総会で皆様にお目にかかって早や二度目の若葉の季節になって参りました。どのような集まりとも知らず出席させていたゞき、いろいろな才能をお持ちのメネットさんにお会いしているうちに、今ひとさまに御奉仕するという事は出来なくとも何年か先には御奉仕出来る人間になれるようにと心掛けるようになって参りました。

御主人の役割がそのままメネットさんのお仕事になると聞いております。これからも出来るだけ会合に出させていたゞき、ワイズメンズクラブを理解しメンの足を引っぱらないで手助け出来る、可愛く、賢く、力強いメネットになりたいと願っております。皆様のお力添えで中村メネットに無事バトンタッチ出来感謝しております。LOVE ちあき。

I tell you the truth, my Father will give you whatever you ask in my name. Until now you have not asked for anything in my name.

Ask and you will receive, and your joy will be complete.

はっきり言っておきたい。お前たちがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。今までは、お前たちはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすればいただいて、お前たちの心は喜びで満たされる。

(ヨハネによる福音 第16章23~24節)

▼「日本区大会」の月

6月例会・プログラム

とき 6月20日(木) 18:30~21:00

ところ 大阪YMCA会館 9階集客室

司会 瀬戸 孝太郎君

1. 開 会 山中会長
2. ワイズソング "Once More We Stand"
3. 聖句朗読 長安 敏夫君
4. ゲスト紹介 山中会長
オーストラリアBF代表

Mr & Mrs Dale Fotheringham

中西部長 横山 慶昭氏

5. 食前感謝「日々の糧を」 乾杯 晩さん
6. ヌアヌクラブ訪問の報告 — スライド映写 —
森団長・松添君・正司姉・中村君
7. 日本区大会の報告 山中会長・藤井君
8. 国際大会出席者の壮行式 山中会長
9. 入 会 式 山中会長
新入会員 浦野 啓一君・松本 常晃君
10. 新旧役員交代式 司 式 横山中西部長
11. 誕生日のお祝い 山中会長
12. EMCタイム・ドアブライズ 山村EMC委員
13. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
14. 閉 会

▼例会当番(河野・柴田・瀬戸・長安)

- ドアブライズ(福引き)の景品用に適品を各自ご持参の上ご寄贈ください。
- 今月は'83年度の締めくくり例会です。特別に終了時刻を延長しておりますのであらかじめご了承下さい。

• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

▽誕生のおめでとう

鈴木 美藤	メネット	6月 4日
長安 敏夫	君	1936年6月 8日
照屋 貞夫	君	1942年6月13日
照屋 育子	メネット	6月24日
横山 豊	君	1947年6月13日
平田 雅利	君	1943年6月25日
平田 由喜子	メネット	6月20日
黒田 俊子	メネット	6月26日

▽新入会員ご紹介

浦野 啓一	1951年2月26日生
和子	9月 3日生
Keiichi Urano : Kazuko	
結婚記念日 11月24日	
〒614 京都府八幡市橋本栗ヶ谷64-115	
☎ 075-982-9396	
勤務先	㈱マルエー食品工業所(食品加工業)
〒556 大阪市浪速区稲荷町2-952	
☎ 06-562-0195	
松本 常見	1954年1月 6日生
有公子	1月15日生
Tsuneaki Matsumoto : Akiko	
結婚記念日 1月15日	
〒565 吹田市山田西2-3-9-404	
☎ 06-876-0287	
勤務先	㈱パンフックツアーズ(旅行業)
〒530 大阪市北区堂島3-2-10 梅田橋ビル	
☎ 06-453-5001	

5月例会 出席者〔在籍会員 32名〕

	第1例会	第2例会	Makup	累計
メン	22名	13名		22名
出席率	68.75%			68.75%
メネット	2名			
コメント				
ゲスト	1名			
ヴィジター	1名			
新人	1名	1名		
合計	27名	14名		

- ゲスト 古川 勝氏(スピーカー)
- ヴィジター 羽田野 彊君(堺クラブ)
- 新人 松本常見君(3回) 浦野啓一君(3回)
- ニコニコ 20,000円(累計 176,020円)

▽3月度出席率の修正

山村幸明君は4月11日大阪千里クラブの例会に出席し、メイキャップされた。従って3月度の出席者を23名に出席率を67.65%に修正する。



▽勇者の体験談に教えられる — 5月例会の記録 —

「ソ連の不参加宣言」などロサンゼルスオリンピックが格別な話題となっている折から、センテニアル5月例会のゲストスピーカーとして、1956年メルボルン・オリンピックのゴールドメダリストである古川勝氏をお迎えした。

当時「古川式潜水泳法」として世界の水泳界の注目を集め、200米平泳ぎで期待どおり日の丸を上げたこと、またこの泳法が呼吸のタイミングを一瞬誤れば生死を分けるといったギリギリのものであるという理由から、以後は禁止されたことなどが思い出される。

「水の抵抗を最小にするために最適な潜水の深度、ゴールまでペースを落さないために最適な呼吸タイミングなどを体が覚えるまで毎日1万米位泳いで訓練を重ねた。」

「決勝レースの途中ライバル選手を抜き、これで勝てるという気が頭をかすめた途端身体が金縛りにあったように動かなくなってしまった」

「世界選手権など何回経験していても、オリンピックの緊張は全く別物。最後の瞬間に向けてコンディションを整え実力を出し切ることが出来たのは運がよかったというしかない」ということばは誠に示唆に富むものであった。奇しくも新年合同例会でのヨット世界一周の堀江謙一氏のお話のしめくりも「運がよかったから成功した」と全く同じであったことを思い起した。人間の力の限度一ばいまでの努力の後に何かを成しとげた勇者の口から出ると、このことばにも特別の重みを感じさせられた。

スピーチのあと25日にハワイヌアヌクラブ訪問ツアーに出発する森IBC委員長以下の一行に対して壮行の声援を贈り、記念のセンテニアルバナレットを託した。

——— 《 感謝のことば 》 ———

センテニアルブリテン創刊以来2年間編集を担当して参りましたが、新年度よりは河野、藤本、川越、谷川の諸氏にバトンタッチすることになりました。ワイズの何たるかも充分解らない所からスタートし、諸先輩のご教示、ご指導を仰ぎながら、ブリテン製作がそのままワイズ理解の学習となった2年間でありました。特に鈴木、谷川、黒田、田中の四先輩には毎月かかさず解説やニュース等優れた記事を提供してご支援いただきひたすら感謝あるのみです。メンバー全員寄稿の当初目標は残念ながら大巾未達に終り編集担当の努力不足をおわびいたします。

願わくば新委員により面目一新、みんなでわいわいがやがやといった楽しいブリテンとなりますよう。

編集委員一同

今月の聖句によせて

黒田 敏之

古い聖書の邦訳で「求めよさらば与えられん」という聖句がありますが、今月の聖句はそれを選びました。共同訳の聖書では「願いなさい。そうすればいただいて、お前たちの心は喜びで満たされる」となっていますが、私は文語体の「求めよ、さらば与えられん」の方が名訳であり、何かびったりくるように思います。

この聖句はイエス・キリストが、やがて十字架の死が近いことを予想して、弟子達に語られた訣別の説教の中の有名な句です。文中、父とは勿論キリストの父なる神を意味しており、また「わたしの名によって」とは「キリストによって示された神への信仰をもって」という意味で、ただ単に願い求めるのではなく、神への信頼と信仰をもって願い求めるとき、必ずその願いは聞き入れられるという意味です。私たちは誰でも何か願い求め、向上を求めています。別の言葉で言えば、欲望を持っています。その欲望を、神への信仰によって次元の高い欲望に変化させて願い求めるときに、人格の向上、発展があると言い得るでしょう。

▽ 第2例会の記録 — 5月24日(木) —

1. 6月例会プログラムの確定
2. ファミリー・デーキャンプの計画
 - とき 7月29日(日) 11:00~15:00
 - ところ YMCA六甲研修センター
 - 夏休みの一日を家族で楽しくすごすため、EMCとドライバー委員により実行委員会(委員長・藤井君)を組織してプログラムを練ることとなる。
3. 当面の行事・委員会日程について
 - 6月27日(木) 17:30 プログラム委員会
 - 18:30 第2例会
 - 7月7日(土) 14:00 ファンド委員会
 - 7月18日(木) 18:30 7月例会
 - 7月25日(木) 18:30 プログラム委員会
 - 7月29日(日) 11:00 第2例会(デーキャンプ)

新年度は各事業委員会を頻りに開いて、クラブの活動を盛り上げるよう運営を強化すること。
4. '84年度センテニアル会費の改訂
 - 諸経費が高騰の折、値上げも止むなしとして会費を次の通り改訂を了承した。半年27,000円(現行23,000円)

第2回アフリカ難民援助国際会議

(ICARA II)開催さる

第2回アフリカ難民援助国際会議(International Conference on Assistance to Refugees in Africa II)が、今年の7月9日から11日までジュネーブで開かれる。この会議は、国連事務総長の呼びかけで、国連開発計画(UNDP)、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)とアフリカ統一機構(OAU)が協力して開催する。

第1回会議は、1981年4月に開かれた。目的は①アフリカ難民の窮状を世界に知らせる、②援助資金を集める、③難民受け入れ国の負担を軽減する、の三つであった。第1と第2点は、ほぼ成功をおさめた。日本政府からの2千万ドルを含めた5億7千万ドルを上まわる拠出金が集まり、数十万の難民が自国に帰還したり、逃れた先の国に定住することができた。

しかし、難民受け入れ国の負担軽減という3番目の目標は達成できなかった。アフリカの国々では、これまで伝統的に隣国から追われた人々を、自国の発展を犠牲にしても寛大に迎え入れてきた。しかし、これらの国々はほとんど最貧国に属し、干ばつ、食糧不足、経済不況の影響の下で、自国民さえも厳しい生活水準にあえいでいる。大量の難民の存在は、これら貧しい国々の脆弱な経済状態をさらに悪化させてきた。このため、こうした極度の経済的低迷と開発の遅れをなんとかしなければならない。

以上の背景の中でICARA IIが開催される。会議の目的も第一回会議の成果の評価、難民に対する継続的援助とともに、次のことが焦点となる。それは、主に受け入れ諸国の社会的経済的基盤(道路・橋・病院・学校など)の整備と充実を援助し、これらの国々が難民流入の重圧に耐えられるようにすることである。

YMCA国際社会奉仕センターでは、この国際会議を前に「アフリカ難民を考える」集いを6月9日(土)に開催する。当センターのほかアジア協会、アジア友の会、ユニセフ関西市民の集いなどの諸団体と共に、「関西アフリカ難民を考える会」を組織し、講演、映画、パネル展示などを行っている。

なお、この点につきお問い合わせは奉仕センターまで

〈 YMCAニュース 〉

▽大阪YMCA新館にある国際文化センターと当国際・社会奉仕センターは連動して諸活動を行うことになっていますが、とくに大阪YMCAの協力会員の力を結集して、いろんな企画を進めたいと思います。協力会員であるワイズの皆さんのご協力をお願いします。

▽国際文化センター(新館)では公開プログラムとして、5月から「人間の生き方」「自然との共存」「人間の援助関係」の3つの講演シリーズをはじめましたのでご参加をお待ちします。

▽国際・社会奉仕センターではこの6月にフィリピン観光フェスティバルウィークを開き、その中でフィリピン観光写真展(6月11日~16日)を行います。また、30年の障害者としての生活を打ち破り、絵という表現の中に生きがいを見出した「宮崎幸子メルヘンの世界」作品展(6月25日~30日)も開かれます。大阪では、はじめての個展です。6月の第2例会の折には是非ご覧下さい。

▽先般来、協力会員の手続きのお願いをいたしておりますが、まだお済みでない方は是非手続きをお願いします。

§ 一枚の写真 §



ワイズ交友録 M

鈴木謙介

佐藤邦明ワイズ — 最も敬愛してやまぬワイズの友の一人としてここに紹介させていただきます。この写真は数年前、メルボルン国際大会に同行したときの夫妻の写真、メネットは欣子さん。この春の叙勲で勲三等の榮譽を授けられた。若い日からずっと海運に関わって今は日之出汽船株式会社の会長をつとめている。若い時(戦争中)には輸送船に乗り組み何度も九死に一生を得たこともある。一生を海運一筋に生きた海の男である。さすがに度量が大きい。男らしい。そして細心。友情に厚く、人を愛し人に愛される。視野の広さ、識見の高さ、いづれもワイズにあってはうってつけのリーダーとなり、YMCAにあっては東京Y理事長日本YMCA同盟委員長の大役を見事にはたしている。これらのことはYMCA少年部時代、母校青山学院時代、野尻学荘時代に培われた献身奉仕の精神に負うところ大である。YMCA仲間て特異な層をなしている野尻の卒業生の一人である。野尻学荘とは東京YMCAと小林弥太郎先生とが早い時代にキャンプによる少年の陶冶を計画し実践した野尻湖所在の一種の学校である。東京むかでクラブは小林弥太郎先生の家業(砂糖商)の家号のむかで屋から取った名前であって、野尻の卒業生が中心になって、そして東京YMCAのキャンプ事業のため奉仕することを一つの目的として設立したワイズメンズクラブである。むかでとは百足のことで英語でもCentipedeと書いて同じ意味なの面白いが、外国の友にむかでとは何の意味かと問われて一々説明するのに苦労するが、ものがものだけに大笑いすることがある。一体ワイズでこんな名をつけるのは異例中の異例であろう。

佐藤邦明夫妻とはよく国際大会に同行もした。又YMCAの会議と一緒に出かけた。実に爽やかに交友させてもらって互いに満たされた気持を続けられてきたのはほんとにうれしい。良き友を得たときの喜びは格別なものだ。日本のワイズが多年にわたってBFの最上成績をつづけているが、その功績を国際に認めさせBF予算の一部を日本に使用させる様にさせたのは彼の努力の一つだった。国際ワイズの中でこんな評判の良いワイズメンは珍しい。心を割って友との間によき理解を培うことがうまいからであろう。欣子メネットの地味ながら力強い支えがあることも有力な原因となっている。彼等は長い聖公会の会員。息子1、娘2、いづれも独立、それぞれ2人ずつの孫がある点是我家と同じ、彼は1913(大正2年)生れなのに私より5才位若く見えるの私の秘かな怒りの一つである。

NEWS IN BRIEF

●新役員研修会の開催

次年度新役員の中西部研修会が下記のとおり開催されます。新四役・事業委員長、委員は是非出席し、その役割や事業活動の具体的な進め方について学習して下さい。

と き 6月9日(土) 14:00 ~ 17:00

と ころ 大阪南YMCA(天王寺区南河堀町9~52)

●センテニアルファミリー・デーキャンプ予告

センテニアルクラブの夏休みファミリー集会として、下記のとおり一日キャンプを計画しています。プログラムは例によってフィフティーズが楽しい演出を考えます。今から予定をしてお揃いで参加して下さい。

と き 7月29日(日) 11:00 ~ 15:00

と ころ YMCA六甲研修センター

●ハワイ・ヌアヌ訪問チーム出発

ヌアヌクラブ訪問チームの森夫妻、松添、中村両君は5月25日18時半予定どおり元気に出発された。一行は松添旅行委員長特別のお計らいでファーストクラスのご気兼ねな出で立でありました。お見送りは田中、山田両君、それに松添メネットも控え目にお見送りでした。正司ご夫妻は一日遅れて現地合流の予定。



●会員消息

▽ 谷川寛君 6月12日より約4週間ヨーロッパ(英国、ベルギー)に出張されます。途中ワイズ国際本部のあるジュネーブに立寄り、国際書記長I・ウオリン、世界YMCA同盟M・リッター、宮崎幸雄氏らと国際の次期タイム・オブ・ファストのプロジェクトについて協議されます。さらにスイスのワイズも訪問の予定。

▽ 柴田健君 いつも例会でおなじみのコメント佳苗さんは今春より中学生になりました。コーラス部と剣道部に入り、未来の女剣士を夢んでいます(?)

▽ 当クラブのチャーターメンバーで、現在東京クラブ所属の西村隆夫君は、5月26日(土)東京ユニオンチャーチにて、鈴木謙介ご夫妻の証人でめでたく結婚。新婦久美子さんは東京クラブ鈴木功男氏のコメントさん。ワイズ二世カップルに祝福あらんことを。

●EMC通信

当クラブの出席率は5月まで69.58%と目標を大中に下廻っております。本年度のしめくりに6月は全員出席を果したいものです。岡本君、桂君、阪田君、皆本君、坂口君、お忙しいでしょうが、ぜひにお会いしたいものとお待ちしております。